

令和3年度 第1回福井市行政改革推進委員会 会議結果

- 1 開催日時 令和3年5月27日(木) 14:00~15:30
- 2 開催場所 市役所本館3階 第3会議室(A)
- 3 出席者
- (1) 委員 内山秀樹 委員長、田村洋子 副委員長、生駒俊英 委員、井上武史 委員(リモート出席)、奥村清治 委員、黒川俊枝 委員、佐々木俊一 委員、谷内 由美子 委員、見谷頼貞 委員(船井委員は欠席)
- (2) 事務局 総合政策課、財政課

4 会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 令和2年度 第2回財政健全化専門部会の会議結果について(報告)
 - (2) 「福井市行財政改革指針(平成29~令和3年度)」令和2年度取組結果について(報告)
 - (3) 「福井市行財政改革指針(令和4~8年度)」の策定方針について
 - (4) 令和3年度 外部点検対象事業の選定について
 - (5) その他
- 4 閉会

5 議事の概要

委員長	<p>(1) 令和2年度 第2回財政健全化専門部会の会議結果について(報告)</p> <p>資料1-1、1-2について事前に読んでいただいていることを前提として、簡単に報告させていただきます。11の取組目標の進捗状況について、審議を行った。</p> <p>財政健全化への取組の背景は、3年前の大雪で大打撃をうけた福井市の財政を再建するというものだが、今年の大雪やコロナウイルス感染拡大等により、厳しい状況にある。</p> <p>専門部会としての全体的な見解としては、総論として、財産収入の確保や人件費の縮減を進めており、がんばっているというのが委員の評価であった。</p> <p>ただし、様々な要素があり、自然災害などいつ起きるかわからないし、また大雪もあることから、楽観視はできない。財政調整基金30億円を目標として、あらゆる努力を重ねて行政運営を進めて欲しいというのが全般的な話であった。</p> <p>まず、令和3年度の予算については、委員からワクチン接種についての意見があり、無料で接種できるものの、実際には多くのコストがかかっていることから、市民にもコスト意識をもってもらうために、コストについて理解してもらう必要があるとの意見であった。どれぐらいの費用がかかるのかという意見に対し、国の示した接種単価は2千円台だが、諸々の経費を含むと約6千6百円かかるという話だった。</p> <p>また、財政健全化については、がんばっているという評価をしたが、11項目のうち、達成したものは5項目で半分以下ということであった。厳しい状況の中でも、達成率は高いとは言え</p>
-----	--

	<p>ないとの意見もあった。今後、コロナ禍がある程度落ち着いてきたら、総力をあげてやっていく必要があるとの意見が出された。</p> <p>また、施設の統廃合等を計画する施設マネジメントアクションプランについては、実施することによりコストがどれくらい削減されているかを、数字で市民の方々に見えるようにしていく必要がある、といった意見があった。</p> <p>詳しくは資料を見ていただけたらと思う。何か質問等があればお願いします。</p> <p>特に意見もないようなので、次の議事に行きたいと思う。</p>
事務局	<p>(2)「福井市行財政改革指針(平成29~令和3年度)」令和2年度取組結果について(報告)</p> <p>【資料2-1、2-2に基づき説明】</p>
委員長	<p>ただいま、報告してもらった内容について、意見をお願いします。</p> <p>取組結果については、前委員会で報告を受けたものからの修正の話なので、特に意見がなければ、次に行きたいと思う。</p> <p>特に意見もないので、了解していただいたということで次の議事に行きたいと思う。</p>
事務局	<p>(3)「福井市行財政改革指針(令和4~令和8年度)」の策定方針について</p> <p>【資料3に基づき説明】</p>
委員長	<p>政策的なことに関心が行くが、政策そのものは総合計画などで議論するものなので、ここでは政策を推進していくために組織はどうあるべきか、市民へのサービス提供の仕方はどうあるべきか、財政の健全化などをどう進めていくか、についての指針であることをご理解の上で、意見があればいただきたいと思う。</p> <p>私からの質問だが、この資料が外部に出るのは初めてか。</p>
事務局	<p>この考え方をお示しするのは初めてである。</p>
委員長	<p>どのように策定していくかはスケジュールに記載されたとおりで、パブリックコメントにかけて、議会の承認を得ていくというものか。</p>
事務局	<p>そうである。</p>
委員長	<p>何か気になる点があれば。</p>
委員	<p>資料の「市民サービスのさらなる向上」の部分で、行政がデジタル化を進めるというのはよくわかるが、高齢者がワクチン接種を予約するにあたり、現段階で高齢者がインターネットで予約するのは無理があった。デジタル化をどのように進めていくのか。高齢者への啓発や情報提供をどのように行うのかも考えないと、市民サービスの充実につながらない。過渡期で大変だとは思いますが、そういうところも考えていただき、ここ1、2年の体制も中に入れ込んでもらえると高齢者は助かると思う。</p>

委員長	<p>国にデジタル庁が創設され、各地方自治体もDXを推進していくことになっており、追い風となっているが、デジタルについていけない高齢者を置いてきぼりにしてはいけない。そこも大事にしながら進めてもらいたいというご意見かと思う。</p>
委員	<p>スケジュールについてだが、今年度は行財政改革の令和4年度から8年までの指針をまとめることと、外部点検があるということだが、両協議がある中で何回ぐらい委員会を必要としているのか。</p>
委員長	<p>指針をこの委員会で協議するスケジュールは。</p>
事務局	<p>スケジュールについては、本日の会議の最後に説明する予定であったが、先に資料5を見ていただきたい。</p> <p>本日は第1回目の行政改革推進委員会であり、その後、外部点検を行うこととなっている。その後、11月に第2回の行政改革推進委員会を行う予定である。内容は、10月に実施する専門部会での報告と、現行財政改革指針の5年間の総括、新たな行革指針（素案）の詳細について、協議していただく。また、外部点検の総括もあるため、盛りだくさんになっている。</p> <p>翌年2月の第3回目では、行財政改革指針の今年度の取組結果、新しい行革指針のパブリックコメントの結果及び策定についての報告と、外部点検の報告となっている。</p>
委員	<p>財政健全化専門部会の委員になっている4人以外の委員の意見を聞く場は、今日しかないのか。</p>
事務局	<p>本日以外にも、11月の行政改革推進委員会にて、素案を審議していただく。</p>
委員	<p>財政健全化専門部会の委員になっている委員は10月に発言する機会があるが、他の方はないので、もう少し委員の声を聴く場があっても良いと思うが、委員長にお任せする。</p>
委員長	<p>財政健全化専門部会と、この行財政改革指針は、少し性質が異なるのではないか。</p>
事務局	<p>ある程度形になれば、ご意見を聞くこともできるので、やり方を考えさせてもらう。</p>
委員長	<p>議題としてあがるのは、今日は方針だけだが、第2回の行政改革推進委員会が山場になる。その意見を受けて修正するなどし、2月に第3回となる。11月と2月でばたばたとなるが、11月の時点でまとまらないのであれば、柔軟性をもってまたスケジュールを考えてもらうなどしてもらえたら。</p>
委員	<p>11月に正副議長、会派説明とあるので、その時にはある程度皆さんの意見を聞いたものでないといけないのではないか。</p>
事務局	<p>その前段階で意見を聞けるように、どのようなかたちになるかは、また検討させていただく。</p>
委員長	<p>素案についての正副議長説明、会派説明と、この委員会は並行か。</p>

事務局	<p>決定機関は行政改革推進本部で、この場は意見助言をいただく場である。その2つを経た上でないと、最終決定にはならない。庁内の最終決定が終わらないと議会に説明できない。委員のご意見は、その前に意見を聞く場がないと性急ではないかということだと思う。やり方を含めて考えさせていただく。</p>
委員	<p>推進の体系図の所で、2点伺いたい。総合計画との整合性ということだが、SDGsをふまえた健全で持続可能な財政運営とあるが、SDGsは分野が多岐に渡るため、色々な項目にSDGsの精神が入ってくると思う。取組例に、「SDGsの推進」とあるが、SDGsの推進という項目を立てて、他の項目についてはSDGsとの関連性をもたせないようにするのかを伺いたい。何故かという、おそらくいくつかの項目はSDGsに関係してくると思うが、ここにあがっているものは今の行政改革の内容にも関連してくると思うが、SDGsの要素が入ってくると一歩進める印象があった方がよいと思っているからである。取組例に、SDGs推進を単独でつくってしまうと、その関連性が弱まってしまう。いろんな項目にSDGsの要素を入れるのであれば、今の計画と次の計画との違いを強調すると、SDGsのイメージが出やすい。</p> <p>2点目は、先ほど行政改革の進捗の報告を受けたが、未達成の項目については、今後も引き継いでいくのか。例えば女性の管理職登用など。国でも重要な政策課題なので、次の計画でも相当大きな役割に入ってくるのかと思う。</p> <p>3点目は、推進方針にあがっているデジタル技術について重要な位置づけであるが、在宅勤務がどうなるのか。コロナ禍でリモートが進められてきたが、セキュリティの問題などで、コロナ終息後に元に戻る可能性もある。在宅勤務の良いところもあるので、これをどのように位置づけていくのが重要な課題。アイデアとして、サテライトオフィスを運営している民間企業がニュースになっていた。職員も在宅か役所かではなく、色々なところで働ける可能性が考えられる。公民館など職住近接が実現しやすく、情報セキュリティの問題もクリアしやすくなるのではないかと。近場の公共施設を使った勤務が出来るようなことも、検討課題になるのではないかと。在宅勤務をどう続けていくかも重要な課題であると思うので、考え方をお聞かせいただきたい。</p>
事務局	<p>まず、SDGsの推進は、書きぶりが悪かったかもしれないが、全体に係るものとして取り組んでいきたいと考えている。取組例のSDGsの推進は、今回示したものと違った表記になると考えている</p> <p>2点目、未達成の項目については、次期指針に引き継いでいくべきと考えており、担当課との協議を進めているところである。一方で、新しい項目も増やしていくことになるので、ある程度根付いた項目は指針から外し、通常の業務として対応していく。</p> <p>3点目、在宅勤務の考え方については、策定作業を始めたばかりなので詳細についてはこれからとなるが、検討課題と認識している。在宅勤務の前提として、デジタルの活用に関しての職員の意識の在り方、活用の仕方をどう変えていくかも含めて検討していきたい。</p>
委員	<p>すぐに答えが出るものではないので、検討課題としてあげてもらっただけでもいいかと思う。</p>
委員長	<p>市レベルでも報告的な一方通行の会議は、集まるコストと労力を考えればオンラインで十分だろう。対県、国、公民館、自治会などとの関係もそういった展開が出来るのではないかと。</p>

	仕分けをすればトータルコストがかなり削減されるのでは。そんなことも盛り込んでいただけたら。
事務局	上手く活用すれば。ケースバイケースだとは思う。
委員長	市全体として取り組むのであれば、指針などを設けるとよいのではないか。
委員長	本日は改定の話で、大きな方針なので、次回になっていや実は話がブレていくと、作業が後戻りすることになるので、これは、盛り込んでいくべきという意見があれば、いただきたい。
委員	これだけ自然災害が多く、何が起きるかわからない。策定方針の今後の課題のひとつに、防災・減災に関係するような、安全で安心して生活できる環境づくりを常に考えているということを何か言葉で入れていただくと良い。
事務局	資料の2番の(1)の部分かと思う。ご意見を踏まえ検討させていただく。
委員長	危機管理的な部分もある。新型コロナウイルスも範疇に含めて課題としてとらえるか、大雪も災害。豪雨災害も危なくなっている。日本も亜熱帯に近づいているので。
委員	足羽川ダムも完成までにまだまだ時間がかかるので。
委員長	策定方針レベルでは、いくつかご意見をもらったので、再度検討し、肉付けしてもらい、次は11月の素案ということになる。
事務局	(4) 令和3年度外部点検対象事業の選定について 【資料4-1、4-2、4-3に基づき説明】
委員長	平成29年度からやってきたが、令和2年度は外部点検が実施できなかった。本来は令和2年度に今回の点検を行い、今年度は総括だったと思うが、総括とはどんなイメージか。
事務局	11月の第2回目の委員会で、5年間の総括を提示させていただく。
委員	外部点検は、詳しく知りたい事業だけでなく、場合によっては廃止してもよいのではないかという事業も選んでいいのか。
事務局	はい。
委員	指定管理者制度を導入している事業が対象外となっているが、どのような意図か。
事務局	指定管理になると、指定管理者制度のスキームに基づき、公認会計士などの専門家がモニタリングを行うチェック体制となっていることから、ここでは除外している。モニタリングでは、

	運営の仕方や経理の仕方などもチェック対象になる。
委員	他都市の指定管理施設の事例だが、チェック体制がしっかり働いていれば、指定管理のトラブルが起こらなかったのではないかな。
委員長	指定管理施設については、専門家が厳しくチェックするだろう。
委員	報道などの情報であり、当事者ではないので判断すべきところではないが、業者と行政の水掛け論のイメージがあるので疑問に思った。
事務局	ただ今のご意見については、報道で確認している。そういった点も含め、指定管理者のチェック体制の中でしっかりとモニタリングしている。特に意図があって対象外としている訳ではなく、指定管理者制度の中でチェックすることになっており、また候補事業も多くあることから、除外している。
委員	本日はリモート参加であるが、希望事業の提出はどうしたらよいか。
事務局	ご発言をお願いしたい。
委員	各分類からひとつずつ選ぶべきか、点検したい事業でよいのか。
事務局	便宜上分類分けしてあるが、こだわってもらう必要はない。参考としていただければ。
委員長	事務局が掲示した点検候補事業一覧表に付箋を貼る前に、ひとり4枚の付箋をお持ちなので、ご自身のグループが、AとBどちらかわかるように、投票する付箋に記入していただきたい。最終的には、どちらのグループで点検するかを分ける話にもなるので。
事務局	付箋は2色に色分けしており、Aグループがピンク、Bグループが黄みどり色になっている。
委員	文化の分類は、教育委員会と商工労働部に分かれて、保存と活用の面で分かれているが、以前からこのような体制だったのか。いつごろから商工労働部に事業が分かれたのか、そのあたりを教えていただきたい。
事務局	途中から体制に変更があった。平成28年度に商工労働部に観光文化局ができ、組織上の見直しがあった。元々は、教育委員会にすべての事業があった。
委員	第八次総合計画の文化に関しては、まちづくりに入るのか、文化に入るのか。
事務局	審議会の開催途中での状況にはなるが、教育にも観光にも両方に入ってくる。
委員	組織体制に合わせたものとなっているということか。

事務局	そうである。
委員	点検は、これまでの成果を点検するのか。今後事業を行うにあたっての点検なのか。
事務局	資料4-1-①の4番、点検の視点と評価方法をご覧いただきたい。質の高い行政経営を目指すため、こうしたら良いのではないかと提案をいただくことがベストである。 担当課から、それぞれが抱える課題などについても言ってもらうようお願いする予定なので、皆様の知見を基に具体的な提案をしていただくことが、点検の意味合いとなっている。
委員長	それでは、各委員において、候補事業の選定をお願いする。 【各委員がひとり4票(4枚)の付箋を点検候補事業一覧表に貼付】
委員長	では選定を行う。票が多いものから選んでいくと、ちょうど8事業となる。 4番の美術館企画展開催事業は、常設展だけでなく、その他の企画展も入るのか。
事務局	この事業は、企画展の事業である。
委員長	4番と5番はセットでの点検でよろしいかと。 票が多かったものを選定するということで、よろしいか。良ければ、グループ分けをしていきたいと思う。 A グループが、2番、10番、14番、15番の事業の4事業。B グループが、4番5番をセット、16番、19番、23番24番をセットの4事業ということに決まったのでこれで進めたいと思う。
事務局	(5) その他 スケジュールについては、先ほど申し上げたので特にございませぬ。
委員長	他に何かご意見は。
委員	B グループの中に、学校防災体制事業がある。一番注意しなければならないのは森田小学校だと思う。一度見てはいるが、もう一度点検前に見てきたいが、事務局から教育委員会に行くことを伝えてもらえないか。
事務局	森田小学校の見学ということでよろしいか。
委員	子どもの数が多く、3階から降りてくる際の移動が大変である。2年ほど前には工夫すると言っていたので、改善されたかが見たい。学校規模適正化委員会一度見たが、改善化されたかが見たい。
事務局	学校教育課に確認する必要があるので、確認させてほしい。
委員長	担当する事業について、確認したい、見たいといったことがあれば、おっしゃって欲しい。

事務局	この場でなくても、メール等でご意見をいただければ、可能なものは対応する。
委員長	事前にもより詳しい資料がもらえると思うので、目を通して詳しく知りたいご要望があれば直接事務局に問い合わせてもらって良いかと思う。 よろしいでしょうか。では、以上で本日の議題は終わりたいと思う。 <p style="text-align: right;">(15:30 終了)</p>